京都大学医学部附属病院
看護職キャリアパス支援センター

中堅助産師・看護師のみなさん！！
このプログラムにぜひチャレンジしてください！

【センターの概要】

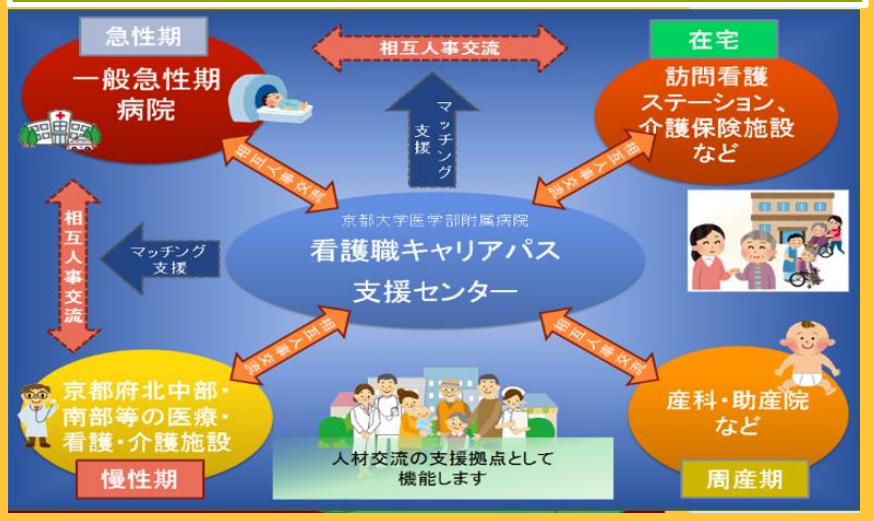
看護職キャリアパス支援センターでは、京都大学医学部附属病院と京都大学医学部人間健康科学科並びに地域医療機関等との間で相互の人材交流を推進する事を目的とします。

特に、地域医療機関等との相互人材交流の推進においては、京都大学医学部附属病院から他施設への看護師等の長期派遣、並びに他施設から京都大学医学部附属病院への長期受入れを行う人材交流システムを確立する事により、京都府下における看護師等の人材交流を活性化させ、医療機能分化における施設間連携に強い看護師等の養成を目指します。

機能の異なる病院間の人材交流によって、それぞれの現場を知り、お互いの強みを活かし合うことで質の高い看護、チーム医療が提供できるのではないかと考えています。

当センターは、その「橋渡し役」として機能しております。

施設間の連携に強い看護師養成プログラム



～人材交流参加施設と参加者の声～

京大病院の教育を学びたい、自分の成長をチームのレベルアップに繋げたい

自分の分娩の技術に自信が付き、助産外来も経験できました

訪問看護でその人らしい生の在宅看護を学ぶ事ができました

緩和ケアを学びたく緩和ケア病棟へ！異なる環境でいろいろ学べました

新たな発見や学びの連続！学べることの楽しさを感じました

京大のICUでチームでサポートする重要性を再確認！

何をするのかの前に正しく理解する重要性を学びました

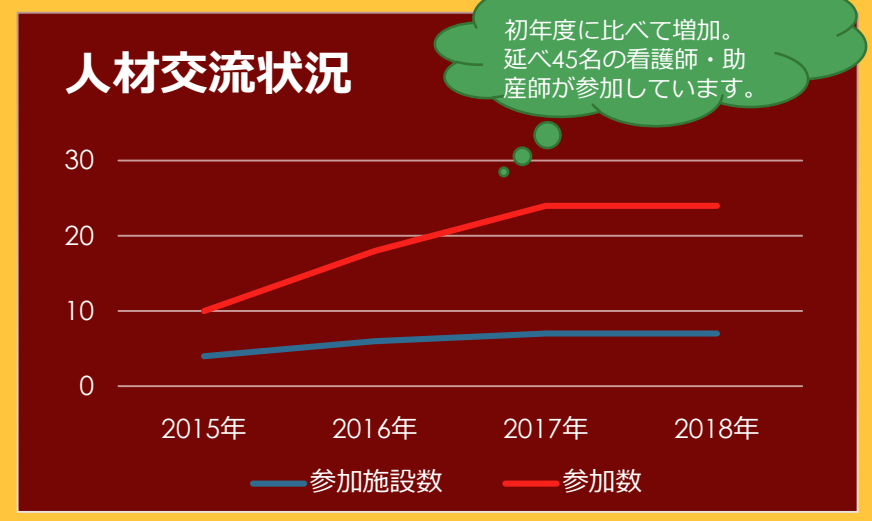
京大での学びが自施設のスタッフのモチベーションアップに

京大の寮を利用。生活面のサポートも充実していました

お母さんみたいな先輩！とにかくみんな優しい！！

自分の学びたいことに集中できました

地域性や役割、雰囲気も違って身をもって体験できました



自施設のICUを引っ張っていきます

出向後も進学サポートを受けました

京丹波町で学び、さらに綾部でも経験できました

地域・施設の枠を超え、一人ひとりの力を伸ばす支援を通じて、地域医療への貢献を目指しています。